

令和4年度の活動状況

<p>RO4. 9. 6 ～7</p>	<p>研究情報交換会</p>	<p>第1部 地域農業技術センターの活動報告</p> <p>1) 「『全国初』JA共同乾燥施設を含めたGLOBALG.A.P. 団体認証取得への取組みと農業振興センターの役割」 新篠津村農業振興センター 小田島 浩行 氏</p> <p>2) 「岩見沢市農業技術情報施設の取組について」 岩見沢市農業技術情報施設 西飯 弘行 氏</p> <p>3) 「洞爺湖町農業研修センターの取組みについて」 洞爺湖町農業研修センター 福島 志保美 氏</p> <p>第2部 話題提供</p> <p>1) 「米政策見直しに対応した北海道の水田農業について」 北海道農政部農産振興課 黒田 晋司 氏</p> <p>2) 「『BISTRO下水道』を基軸とした、資源循環型農業へのご招待」 岩見沢市農政部農業基盤整備課 斎藤 貴視 氏</p> <p>3) 「道産コーンウイスキープロジェクトの取組み」 道総研本部研究戦略部企画G 清水 茂雅 氏</p>
<p>R5.2.9</p>	<p>総会</p>	<p>コロナウイルス感染拡大のため、書面開催としました。</p>
<p>R5.2.15 WEB開催</p>	<p>研究交流会</p>	<p>肥料危機を持続可能農業への転換好機に変える</p> <p>1) 「施肥量適正化の視点ーコスト・養分収支の観点強化した施肥基準に見直しを」 ホクレン農業協同組合連合会 志賀 弘行 氏 氏</p> <p>2) 「水稻の施肥量はどこまで減らせるか」 道総研上川農業試験場生産技術G 後藤 英次 氏</p> <p>3) 「畑作園芸の施肥量はどこまで減らせるか」 道総研十勝農業試験場生産技術G 石倉 究 氏</p> <p>4) 「施設園芸の施肥量はどこまで減らせるか」 道総研十勝農業試験場生産技術G 坂口 雅己 氏</p> <p>5) 「草地飼料作の施肥量はどこまで減らせるか」 道総研酪農試験場天北支場地域技術G 岡元 英樹 氏</p>